

1 【保健体育の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指します。

＜保健体育の学習でどんな学力をつけるのか＞

- ①各種の運動の特性に応じた技能及び、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けさせるようにする。
- ②運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養わせるようにする。
- ③生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うようにする。

2 【学習内容】

1、2年生では「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」「武道」「ダンス」「保健」「体育理論」についての学習をしていきます。3年生では1、2年生で履修した中から自身で力をつけたい、伸ばしたい、深めたい種目を選択し学習していきます。（※保健、体育理論、体づくり運動を除く）

3 3年間の学習計画

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年	体づくり運動（4 月） 新体力テスト（4 月～5 月） 球技Ⅰ・バレーボール/ソフトボール（5 月～6 月） 水泳（7 月）	保健（9 月～12 月） 器械運動（9 月） 陸上・短距離リレー（10 月） 陸上・走り幅跳び（10 月） 体育祭（学校行事 11 月予定） 武道・柔道（11 月～1 月） 球技Ⅱ・サッカー/バスケット（11 月～1 月）	保健（1 月～3 月） 体育理論（1 月～3 月） ダンス（1 月～3 月） 陸上競技・長距離走（1 月～3 月）（3 月）
2 年			
3 年	体づくり運動（4 月） 新体力テスト（4 月～5 月） 球技Ⅰ・バレーボール/ソフトボール（5 月～6 月） 水泳（7 月）	保健（9 月～12 月） 器械運動（9 月） 体育祭（学校行事 11 月予定） 武道・柔道（10 月～12 月） 球技Ⅱ・サッカー/バスケット（10 月～12 月）	保健（1 月～3 月） 体育理論（1 月～3 月） ダンス（1 月～3 月） 陸上競技・長距離走（1 月～3 月）（3 月）

※年度当初の予定のため、急遽種目の変更を行う場合がございます。

4 評価の観点と方法

【評価の観点と方法】

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点を基に評価します。

①知識・技能

運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けているかどうかを日頃の授業（ノート/練習/試合又は記録や実践/筆記テスト）で評価します。

②思考・判断・表現力

自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の取り組み方や工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えているかどうかを日頃の授業（ノート/練習/試合又は記録や実践/筆記テスト）で評価します。

③主体的に学習に取り組む態度

運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしているかを日頃の授業（ノート/練習/試合又は記録や実践/筆記テスト）で評価します。

5 観点と評定について

4の≪3つの観点ABC≫の意味と、組み合わせと評定との関連

「十分満足できる」状況と判断 : A

「おおむね満足できる」状況と判断 : B

「努力を要する」状況と判断 : C

* 授業参加の実態がほとんどなかったり、定期試験や单元テスト等が未受験、提出物が出ていない等、評価の材料がない場合、評定不能の判断により、評定欄が斜線の場合があります。

* 観点の内容による傾斜評価はありません。

観点別評価	評定
AAA	5
AAB	4
AAC ABB ABC BBB ACC BBC	3
BCC	2
CCC	1

6 道徳科との関連

体育の学習で身につける力	道徳で学習する態度
運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する力。	- 公正、公平に何事にも取り組む態度。 - 学級や学校の一員としての自覚を持ち、協力しあう態度。

5 家庭学習の仕方

- 早寝、早起き、朝ごはんなど健康的な生活を意識しましょう。
- 体力は学力です。体育の授業のみならず、日頃から運動する意識をもちましょう。
- スポーツ観戦等みることも体育には必要な観点です。
- 運動する機会を自ら作り、体を動かす習慣を身に付けましょう。